

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	東邦プロジェクトB		
担当者(Instructors)	今瀬 政司	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この演習では、「地域資源の探求」をテーマにして、①地域課題の解決や地域活性化、ならびにそのベースとなる地域資源の探究に関する知識・事例・実践ノウハウを学ぶ。また、②具体的な地域を対象にして、地域資源探究の文献調査やフィールドリサーチ（学外現場訪問）等を行って、「地域資源マップ」を作成する。さらに、③授業を通じて、就職活動の知識・スキル（企業・団体・行政機関（公務員））や実践的なビジネススキル（表現する力、受け止める力、協働する力等）を身につける。授業形態は、原則各回を対面とするが、必要に応じて事前に連絡した上でオンラインで行う場合がある。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	講義形式での知識・ノウハウ学習とともに、文献調査やフィールドリサーチ（学外現場訪問）等を行いながら、プレゼンテーション（スライド型・会議型・対話面接型等）やディスカッション、グループワークの機会も取り入れる。様々な時事問題や雑学、受講者の問題意識なども積極的に取り上げる。必要に応じて、授業での学びや課題など個別相談に乗りアドバイスも行う。担当教員は、シンクタンク企業や多くの民間非営利組織等に所属して、様々な実践活動や国・自治体の政策形成等に携わってきていることから、その具体的な実務経験を紹介することで、リアリティを持って実践イメージを持てるようにする。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	授業の内容・進め方・課題・成績評価方法等。「地域資源の探求」とは何か	<input type="checkbox"/>
第2回	地域資源探究の基礎(1)：知識・事例	地域課題の解決や地域活性化等に関する知識・事例、地域資源とは何か、地域資源探究の実践ノウハウ	<input type="checkbox"/>
第3回	地域資源探究の企画立案(1)：地域・テーマ	「地域資源マップ」とは何か、地域資源探究の具体的な地域・テーマの企画立案ノウハウ	<input type="checkbox"/>
第4回	地域資源探究の文献調査(1)：地域課題解決・地域活性化	地域課題の解決や地域活性化等の文献調査	<input type="checkbox"/>
第5回	地域資源探究の企画立案(2)：地域資源マップ	「地域資源マップ」作成の企画立案、ディスカッション	<input type="checkbox"/>
第6回	地域資源探究のフィールドリサーチ(1)：1次調査	地域資源の現地調査（1次）、「地域資源マップ」の作成	<input type="checkbox"/>
第7回	地域資源マップの発表(1)：骨子	「地域資源マップ」の発表（骨子）、ディスカッション	<input type="checkbox"/>
第8回	地域資源探究の基礎(2)：実践ノウハウ	地域課題の解決や地域活性化等に関する知識・実践ノウハウ、地域資源探究の実践ノウハウ	<input type="checkbox"/>
第9回	地域資源探究の文献調査(2)：具体的な地域の資源	地域課題の解決や地域活性化等の文献調査、具体的な地域の資源の文献調査	<input type="checkbox"/>
第10回	地域資源探究のフィールドリサーチ(2)：2次調査	地域資源の現地調査（2次）、「地域資源マップ」の作成	<input type="checkbox"/>
第11回	地域資源マップの発表(2)：中間	「地域資源マップ」の発表（中間）、ディスカッション	<input type="checkbox"/>
第12回	地域資源探究の文献調査(3)：先進事例等	地域資源の文献調査、先進事例等の文献調査	<input type="checkbox"/>
第13回	地域資源探究のフィールドリサーチ(3)：3次調査	地域資源の現地調査（3次）、「地域資源マップ」の作成	<input type="checkbox"/>
第14回	地域資源マップの発表(3)：最終	「地域資源マップ」の発表（最終）、ディスカッション	<input type="checkbox"/>
第15回	地域資源探究の総括	地域資源探究プロジェクトの振り返りと総括、自己評価と他者評価	<input type="checkbox"/>

**■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)**

自らの興味や考えを大事にしながら、授業時間外でも積極的に学びを深め、調査研究や実践活動を行い、課題に取り組むこと。自身で分からない疑問等は、積極的に教員に質問・相談等を行うこと。（事前・事後で4時間程度）

**■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)**

テーマに関連する様々な時事問題や雑学、受講者の問題意識に関連した事柄についても積極的に取り上げる。必要に応じて、授業での学びや課題など個別相談に乗りアドバイスを行う。状況に応じて、学習・取組みの成果をホームページ等で情報発信することがある。

**■授業の到達目標と評価基準(Course goals)**

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2019全学共通DP3	実社会で役立つ知識・ノウハウの基礎を身につけることができる。地域に貢献することができる。

**■成績評価(Evaluation method)**

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%

**授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)**

その他：授業期間中の課題（地域資源マップ、レポート）。積極的に学びを深め、調査研究や実践活動を行い、課題に取り組んで「成長しているか」、実社会で役立つ知識・ノウハウやスキルを身につけて「成長しているか」等について、授業状況や提出課題で公平に点数化して総合的に評価する。原則、各回授業に出席することで出席扱い。

**■テキスト(Textbooks)**

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業中に説明する。	
2		
3		
4		
5		

**■参考図書(references books)**

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	今瀬政司(2011)『地域主権時代の新しい公共 希望を拓くNPOと自治・協働改革』学芸出版社	
2	テーマに関連した参考文献や実践的な活動情報等を随時紹介する。	
3		
4		
5		